

区 分 森林の整備（人工林）

評価項目（案）

**1 あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率**

・事業計画に対する達成率（事業面積）で評価する。

**2 他事業を含む県全体の整備率**

・間伐全体の計画面積に対する達成率（事業面積）で評価する。

**3 下層植生の発生状況**

・下層植生の発生状況の評価する。

・発生状況は森林・林業技術センターによる実態調査、定点写真観測により把握する。

**4 公益的機能の向上**

・（岡山県の評価を参考に、）二酸化炭素吸収機能、水源かん養機能、土砂流出防止機能について、数値等を用いてわかりやすく示すとともに、その評価額も考慮する。

**5 事業に対する県民の理解、意識をアンケートで把握（以下、各事業及び事業全体で実施）**

・主なアンケート内容案は、事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度等

・アンケートの聴取手法は、県政モニター、県政世論調査、パブリックコメント等、県の既存の意見聴取システムを利用する。

**6 森林所有者の意識**

・事業対象となった森林所有者にアンケートを実施し、事業の有効性、満足度、今後の期待等を調査する。

**7 その他波及効果**

・雇用効果（設計上の人工数、森林整備事業体へのアンケート等）

・森林所有者境界の明確化（筆数、境界延長、面積等）

・団地の設定（団地数、面積等）

・間伐材の利用状況

・林況変化

・事業進捗の都市部での認知度

区 分 森林の整備(里山林)

評価項目(案)

**1 あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率**

- ・事業計画に対する達成率(箇所数、面積)で評価する。

**2 利活用状況**

- ・各事業地の活動団体から、年度毎の活動状況の報告をしてもらい、活動回数や持続性等を評価する。
- ・一般等からの参加者数により評価する。
- ・活動団体の増加数

**3 個々の整備目的に対する達成度**

- ・市町村や地域の活動団体へのアンケートにより調査する。
- ・植生の増加や開花促進等の状況について、活動団体による調査結果により把握する。

**4 事業に対する県民の理解、意識をアンケートで把握**

- ・主なアンケート内容案は、事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度等
- ・アンケートの聴取手法は、県政モニター、県政世論調査、パブリックコメント等、県の既存の意見聴取システムを利用する。

## 区 分 都市緑化推進事業

### 評価項目(案)

#### 1 緑化活動参加者などの理解、意識

- ・緑化活動の参加者を対象にアンケートを実施、緑化に対する意識変化について把握、評価する。

#### 2 施策実施市町村数

- ・実施する市町村を経年的に把握し、県内への広がりを把握評価する。

#### 3 市町村における緑化に関する独自の取組の展開度

- ・これまで、各市町村においては、生垣や保存樹に対する助成など取り組まれているが、市町村によって助成制度のメニューなどにバラツキがあるのが現状である。
- ・そこで、この事業を契機に、助成制度など市町村が取り組む緑化に関する施策が充実されることを目指す。
- ・よって、市町村における緑化の助成制度などについて、各市町村毎の取組項目のマトリックスを作成し、どのように拡大するかを把握、評価する。

#### 4 優良な緑化件数

- ・質の高い都市緑化を推進するため、優良な緑化のケースを選定し、事例集などの形で取りまとめ、PRすることにより、緑化の質の向上に努め、その件数の把握、評価を行う。

区 分 環境活動・学習推進事業

評価項目(案)

1 交付金交付事業(団体)数

・交付金を交付した事業(又はNPO、市町村等の団体)数で評価する。

2 県民の理解・意識(波及効果)

・事業実施団体を通じて実施する参加者アンケートにより把握する。

## 区 分 森林整備技術者養成事業

### 評価項目(案)

- 1 あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率
  - ・事業計画に対する達成率(参加者数)で評価する。
- 2 養成技術者の従事状況
  - ・受講者がどれだけ「あいち森と緑づくり事業」に従事したのかを調査し評価する。
- 3 カリキュラム等に対する受講者の意見の聴取
  - ・カリキュラムや習得した技術が現場で役に立ったかをアンケートにより調査する。
- 4 研修に技術者を派遣した森林整備事業体へのアンケート調査
  - ・技術者の派遣が役立ったかどうか等について意見を聴取する。
- 5 事故発生数
  - ・事故発生率の減少で評価する。
- 6 その他関連
  - ・技能取得者数
  - ・県下全体の森林整備従事事業者数
  - ・作業が困難な公道沿いで間伐が実施された延長

## 区 分 木の香る学校づくり推進事業

### 評価項目(案)

#### 1 あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率

- ・事業計画に対する達成率(導入セット数)で評価する。

#### 2 児童・生徒、その親、教師、教育関係者の理解、意識

- ・導入校を中心にアンケートを実施し、その意識、声を調査する。

#### 3 事業に対する県民の理解、意識をアンケートで把握

- ・主なアンケート内容案は、事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度等
- ・アンケートの聴取手法は、県政モニター、県政世論調査、パブリックコメント等、県の既存の意見聴取システムを利用する。

#### 4 製造、販売取り扱い業者

- ・取り扱い業者数、事業実施業者数
- ・製品数
- ・県産の木材を活用した机・椅子を製造、販売している業者へのアンケート調査により、事業への期待、改善点等を把握する。

## 区 分 森と緑づくり事業全体

### 評価項目(案)

#### 1 事業全体への県民の理解・意識をアンケートで把握

- ・主なアンケート内容案は、森林や緑の重要性の理解度、税及び本事業の認知度、個々の事業内容の認知度、事業内容の理解度、進捗状況の認知度・理解度等
- ・アンケートの聴取手法は、県政モニター、県政世論調査、パブリックコメント等、県の既存の意見聴取システムを利用し、より多くの県民から意見をいただき、その結果を評価する。
- ・毎年度、事業内容や実績をわかりやすく、HPやリーフレット等により公表し、認知度を向上させる。
- ・イベント等で定期的に事業認知度等のアンケートを実施し、その経年変化を評価する。

#### 2 PRの状況

- ・PRの年度毎の実施状況を公表する。

#### 3 事例集の作成

- ・毎年度事業の実績の中から、他の参考となる事例をピックアップし、事例集を作成する。